

1年生 生活科

1年1組 「きせつと なかよし だいさくせん！」

4月下旬に全員で学校探検をすると、中休みや昼休みに友達を誘い、様々な場所を自分たちで探検し始めました。見つけた場所や人、ものなどを嬉しそうに話したり書いたりしている姿をたくさん見ることができました。また、タケノコほりをきっかけに校庭や育ちの森を探検すると、「赤い実が落ちていたよ。」「落ち葉の下にダンゴムシがいたよ。」「種みたいなものを見つけた。なんだろう。」と様々なものを見つけていました。中でも、「クワの実」を見つけると、「緑や赤、紫のものがある。」と気付きました。色の変化とともに、季節についても気付き始めています。

見つけた落ち葉や実を「水に浮かべてみたい。」「これで何かかけるかな。」「お面を作ってみたいな。」という声上がり、子どもたちは集めたものを使って、「遊びたい・作りたい」という思いが高まり、学校にある自然（落ち葉・実・花・枝など）を夢中になって集めるようになりました。

集めたものを使って物を作ったり、遊んだりする活動を通して、自分の思いをたくさん伝えられるようになっていきます。秋・冬も作ったり遊んだりしながら、自分の思いや考えをたくさん言えるようになってほしいです。

1年2組 「ひえしょうがっこうと なかよし だいさくせん」

なかよしの活動は、みんなで学校の中を見て回ることからスタートしました。一番初めに興味をもったのは、『竹の庭』でした。「先生！筍があるよ。」「かめがいる。こっちに寄ってきた。」と大興奮！！「筍、食べてみたいなあ。」という声上がり、技能吏員さんに筍を掘ってもらい、栄養教諭に調理してもらって、食べることができました。このことをきっかけに、「日枝小学校にどんな場所があるか知りたい。」と、学校探検を始めました。

行ってみたい場所に探検に出かけると、「図書室には本がたくさんある。」「校長室に、カメの置物があった。」と報告していました。少しずつ「図書室には、8000冊の本があるって〇先生があるって教えてくれたよ。」「校長室に、ソファと机があって、お客さんとお話するからあるって、校長先生が教えてくれた。」

という、聞いたことを報告したり、その部屋にある理由を報告したりする子どもたちが出てきました。友達の報告を聞き、質問しながら探検するようになってきました。

たくさんの教職員との関わりを通し、初めは話かけることができなかつた子どもたちも、あいさつしたり、インタビューしたりできるようになってきました。入学してから3か月！！

子どもたちの成長に日々うれしく思います。子どもたちは、学校探検を通して、「入学した時は何も分からなかつたけれど、学校探検して、日枝小学校にあるいろんな場所やものが分かったよ。」「日枝小学校には、たくさんの先生がいて、自分たちのことを助けてくれる。先生たちのお名前、たくさん分かってうれしいな。」と、学校の施設の位置や特徴、様々な人の存在に気付くことができました。この経験を通し、安心して学校生活を送ってほしいと願っています。



1年3組

「なんでも なかよく なる ゾウ 3！」

入学当初、休み時間になると全員が校庭に急ぎ、汗だくになって教室に戻ってくる日々が続きました。まだ、互いの名前をよく覚えていない段階から、体育で学んだおにごっこやどろけいを「やる人〜！」と声をかけ、大勢で遊ぶ姿が毎日見られました。給食や掃除の手伝いに来てくれている6年生にも積極的に関わろうとし、6年生の手をひっぱり校庭に出ていく姿も多く見られました。「なかよし」の授業では、学校探検を始めたり、お花を育て始めたりする活動の中で、のびのびと自由な発想や活動を展開し始め、校庭探検では、いち早く桑の実を見つけ、たまたま校庭にいた校長先生や技能吏員に自分から聞きに行き、物おじしない積極的なコミュニケーション能力を発揮しました。雨の日探検では校庭の水たまりに躊躇せず両手を突っ込み、「うわあ！気持ちいい！」「先生もやっpegらん！」「お水、あったかいよ！」と様々な気付きを見せ、その大きな水たまりに土を固めて島を作り、「ここをジャンプして遊ぼう！」と水たまり遊びに興じる姿も見られました。それを見た他の児童が、ためらいながらもそれに加わり、「きもちいいね！」「ぬるぬるがおもしろいね！」と大きな輪になって水たまりを囲んで遊びました。池を作っている数人が「つなげようよ。」「1年3組ランドにしよう。」とクラスの半数が一つの活動に夢中になる子どもたち。これからのなかよしの時間が楽しみです。

1年4組

「おはなと なかよし ともだち はなまる だいさくせん」

クラスでたくさんの「はなまる」を見つけようと、4月からがんばっている子どもたち。2年生が、1年生の時に育てた花の種をプレゼントしに来たことをきっかけに花を育てることになりました。「大切にしていね！」という願いが込められた種を受け取った子どもたち。「みんなで頑張って育てるんだ！」「きれいに咲かせて、お家の人に見せたい！」という思いから、「おはなと なかよし ともだち はなまる だいさくせん」がスタートしました。

自分が準備した植木鉢に、土を入れて種まきをしたその日から、「お水をあげに行ってきます！」「お花見てきます！」と言って毎日様子を見に行きました。「お花はみんなのことを見ているから、いろんなことを一生懸命にやらないと、お花はきれいに咲かないよ。」と、世話だけでなく勉強も頑張る子どもたち。クラスの「はなまる」もどんどん増えてきました。きっと夏休みには、素敵な花が咲き、種ができることでしょう。